Tapinsystems

Amazon EC2 のためのクラウド管理サービス

クイックスタートガイド

Tap In のクラウド管理サービスを始めましょう Version BETA 0.5a

Copyright 2009 Tap In Systems, Inc. ("Tap In"). All rights reserved. Use is subject to Tap In license terms. This software and documentation is sold and distributed without warranty of any kind, either express or implied, including but not limited to the implied warranty of merchantability and fitness for a particular use. Neither the author nor any licensor assumes any liability for any alleged or actual damages arising from the inability to use this software or documentation.

目次

本資料は Tap In Systems のクラウド管理サービスへの申し込みと使い方について説明します。 「概要」のセクションでは、サービス導入に必要な手順を簡単に説明し、その後の「始めましょう」 のセクションでサービスの申し込みと開始、そしてあなたが管理しているシステムの最初の監視の 構成設定のための詳しいステップ・バイ・ステップの手順を提供します。「次のステップ」のセク ションでは、Tap In Systems のクラウド管理サービスの能力を拡張できる、その後のアクティビ ティを説明します。他に、*Tap In Systems CMS QuickView User Guide などが、*Tap In のWebサイ ト上で参照できます。

	1
概要	3
始めましょう	4
Tap In Systems CMS アカウントの取得	4
監視システムへのアクセスと構成設定	5
WEB ブラウザから監視ステータスを見る	9
ユーザデータ グリッド	9
Amazon CloudWatch レポート	13
Amazon 課金見積レポート	15
QuickView コンソールアプリケーションのインストール	16
次のステップ	

概要

本資料の「始めましょう」セクションは Tap In Systemsのクラウド管理サービス(Cloud Management Service: CMS)で Amazon Elastic Compute Cloud (EC2)インスタンスの監視を始め るための手順を説明します。

CMS は、Tap In Systems アカウントの Amazon EC2 インスタンスとしてインストールされた専 用の管理サーバ群から提供されます。これらのサーバ群から監視業務が実行され、その結果が保存 されます。そのサーバは、CMS 監視レポートのためのWEBサーバとしても働きます。QuickView ク ライアントコンソール・アプリケーションは、これらのサーバに問い合わせのために接続し、監視 イベントを表示します。基本的な監視情報は、Amazon の EC2 と CloudWatch APIから収集され ます。Tap In のエージェントをインストールすることで、追加の計測基準であなたの監視を機能拡 張することができます。

あなたの EC2 インスタンスのための CMS を有効にするため、下記の手順を実行してください。

- Tap In Systems の CMS アカウントを取得する. 正しいアクセス情報、ログインユーザIDとパスワードを Tap In Systems から取得する必要が あります。このセクションで、この情報の入手方法を説明します。
- あなたのシステムにアクセスし、構成設定する. アクセス情報を使って、Tap In のサービスポータルをアクセスし、あなたのAmazon アクセス認証(Amazon access credentials)を入力します。あなたのインスタンスの構成が表示され、 各インスタンスに対しての監視パラメータの構成設定が可能になります。構成設定手順は、このセクションで詳述します。
- WEBブラウザから監視ステータスを見る.
 CMS は、パラメータ入力後直ぐにインスタンスに対する監視を開始します。数分後には、Tap In の web レポートが更新されて現在のステータス情報が表示されるでしょう。Tap In web レポートは、このセクションで説明します。
- QuickView コンソールアプリケーションをインストールする.(オプション)
 QuickView コンソールアプリケーションは、あなたのパーソナルコンピュータ上にインストールされ、現在のステータスイベントを表示するために Tap In のサーバーに接続します。このセクションで QuickView のダウンロード、インストレーションとコンフィギュレーション(構成設定)について説明します。
- 5. 次のステップ 拡張監視. (オプション) Tap In エージェントやカスタムスクリプトの使用により、より深いレベルの監視が実行できま す。このセクションでは、Tap In の Linux、Windows と EC2 エージェントのインストール とカスタマイズについて説明します。

始めましょう

Tap In Systems のクラウド管理サービス (Cloud Management Service : CMS) は、Amazon ク ラウド(Amazon Web Services あるいは AWS)内にホスティングされています。申し込む場合、 Tap In 管理サーバにアクセス可能にするあなた自身のAWS インスタンスを提供する AWS アカ ウントにサインアップするでしょう。

🚺 Tap In Systems の CMS アカウントを取得する

監視をはじめるには CMS アカウントを取得する必要があります。 - ベータ期間中は、 info@tapinsystems.com にメールを送ってベータプログラムに申し込む必要があります。あな たのコンタクト情報とあなたの EC2 環境の説明を教えてください。1営業日以内に回答をいた します。ベータプログラム参加について、Tap In Systems への費用支払いはございません。し かし、Amazon の CloudWatch サービスをfrom Tap In の CMS から有効にした場合、あなた の Amazon 請求書に加算されるでしょう。 申し込みを受け付けましたら、下記のアカウント 情報を提供いたします。

- ・ Web アプリケーションのホスト名。 このホスト名に対してブラウザを開いて下さい。
- ・ 管理サーバのホスト名。QuickView アプリケーションや監視エージェントにより管理サーバ に接続するのに、あなたが使用するホスト名です。
- ・ ユーザ ID。Tap In のWeb アプリケーションと QuickView アプリケーションのログインす るのに使用する ID です。
- メディエータ ID。Tap In サービスへ監視情報を送るためにエージェントが使用する ID です。Tap In エージェントを使う場合、これをユーザのエージェント構成設定ファイルにセットする必要があります。
- グループ識別子。これは、各ユーザに割り当てられるユニークな識別キーです。 Tap In エ ージェントを使う場合、これをユーザのエージェント構成設定ファイルにセットする必要が あります。
- ・ パスワード。 すべての Tap In アプリケーションで使用されるデフォルトのパスワード。 Web アプリケーションにログインした後、変更できます。

この情報に加え、あなたの Amazon アクセスと秘密鍵が必要です。この情報は、あなたの Amazon の Web サービスポータルにログインすることで入手できます。

2 監視システムへのアクセスと構成設定.

監視システムを構成設定するには、ブラウザを開き、あなたのアカウント情報として提供された ホスト名をアクセスします、例 http://hostname.tapinsystems.net 。 下記のようなログイン画面 が表示されるでしょう。

Tapinsystei	MS ^{Beta}
For technical support contact us at support@tapinsystems.com.	Tap In Systems Management Server
	Username
	Password
	LOG IN
© 2008 - 2009 Tap In Systems. All rights reserve	ed.

あなたの ID とパスワードを使ってログインしてください。下記のホームページが現れます。

TAPINSYST	
Home Status Analysis My	Configuration Friday, 03 July 2009 01:34 PM PDT
For documentation and technical notes, go to the Resources page at www.tapinsystems.com. Contact technical support at support@tapinsystems.com.	Tap In Systems Management Server Welcome user1@xxx.com filter user1@xxx.com role consumer to the Tap In Systems Management Server. Select from the following options. • Status, Views showing the current status of the monitored environment and historical trends. • Control. Control and update this management server. • Configuration. Define the configuration of a management server.
© 2008 - 2009 Tap in Systems. All rights r	served.

メニューから、My Configuration 、My Properties オプションを選んで下さい。

Tapinsys	stems			LOG OUT
Home Status Analysis	My Configuration			Friday, 03 July 2009 01:35 PM PDT
My Properties				
Username	user1@xxx.com			
Password				
Contirm password				
Lastname	First			
Notification Email (optional)	Last			
Twitter (optional)	ID user1	Password •••••		
Agent User ID Tap In Group Identifier	user1@xxx.com_m 1234567890			
Amazon Web Services	(AWS) Credentials			
Enable AWS monitoring				
Access Key	x000000000000			
Secret Key	20000000000000			
UPDATE CANCEL				

あなたの CMS アカウント情報がここに表示されます。このページで、あなたのパスワードや個 人情報を変更することができます。また、随意に、通知情報を入力することができます。通知の 方法は二種類、eメールと twitter (ツイッター)があります。この情報を入力して、指定したイ ンスタンスの通知を有効にすると、CMS はアラート発生時にあなたに通知を試みます。通知を 無効にするには、対応するフィールを空白にしてください。

あなたの Amazon Web サービス認証をここに入力します。この情報は、次のステップで使用す る、あなたの EC2 コンフィギュレーションを問い合わせるのに必要です。*Update* ボタンをク リックした後、あなたのデータを入力してください。

メニューから My Configuration、Amazon Configuration オプションを選んでください。以下の ページが表示されるでしょう。

TAPINSYSTEMS							OG OUT				
Home Status Analysis My Configuration Friday, 03 July 2009 01:36 PM PDT								36 PM PDT			
AWS Managed Instances for user1@xxx.com											
instanceld	Manage	Check Ports (comma separate port #s)	Enable Cloud Watch	CPU Utilization	Network In	Network Out	Disk Read Ops	Disk Write Ops	Disk Read Bytes	Disk Write Bytes	Enable Notification
i-0d086404 ami-50fc1b39 ec2-72-44-82-12 compute- 1.amazonaws.com domU-12-31-39-03-49- E3.compute-1.internal 2009-04-08T17:44:42.000Z running	V	80,443		Enable W Warning 30 % Critical 95 % Period 300 secs Average V	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average v	Enable V Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average V	Enable V Warning 10000 count Critical 20000 count Period 300 secs Average V	Enable V Warning 10000 count Critical 20000 count Period 300 secs Average V	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average v	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average v	
i-10e84979 ami-1doc2874 ec2-75-101-189-244.compute- 1.amazonaws.com domU-12-31-39-00- A5-18.compute-1.internal 2008-09-15720:24:20.0002 running	V	80		Enable Warning 30 % Critical 95 % Period 300 secs Average V	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average V	Enable V Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average V	Enable Warning 10000 count Critical 20000 count Period 300 secs Average -	Enable Warning 10000 count Critical 20000 count Period 300 secs Average V	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average •	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average v	
i-12791e7b ami-50fc1b39 ec2-174-128-123-192.compute- 1.amazonaws.com domU-12-31-39-00- A1-54.compute-1.internal 2009-03-29T21:07:44.0002 running	V	80	V	Enable Warning 30 % Critical 95 % Period 300 secs Average •	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average v	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average -	Enable Warning 10000 count Critical 20000 count Period 300 secs Average -	Enable Warning 10000 count Critical 20000 count Period 300 secs Average v	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average •	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average v	
I-8824f201 ami-48bc582c ec2-75-101-225-25.compute- 1.emazonaws.com ip-10-261-202-207.ec2 internal 2008-06-28119:31:44.0002 running				Enable W Warning 30 % Critical 95 % Period 300 secs Average V	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average v	Enable V Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average V	Enable Warning 10000 count Critical 20000 count Period 300 secs Average v	Enable Warning 10000 count Critical 20000 count Period 300 secs Average v	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average v	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average V	
i-8c70e7e5 ami-50fc1b39 ec2-174-128-122-84.compute- 1.amazonaws.com domU-12-31-39-00-88- F2.compute-1.internal 2009-02-21T18:17:04.000Z running	V			Enable W Warning 30 % Critical 95 % Period 300 seca Average V	Enable V Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average V	Enable V Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average V	Enable V Warning 10000 count Critical 20000 count Period 300 secs Average V	Enable Warning 10000 count Critical 20000 count Period 300 secs Average v	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average v	Enable Warning 100000 bytes Critical 200000 bytes Period 300 secs Average v	

このページは、あなたのインスタンスそれぞれについてのすべての監視設定パラメータを表示します。Tap In の CMS サービスは、このページで入力されたパラメータを使って、5分毎に各インスタンスをポーリングします。各ポーリング後、QuickView コンソールと WEB レポートにステータス結果が送られます。計測基準を持つ監視チェックに対してはグラフ化されたデータが作成されます。

ベータプログラムでは、監視できるのは10インスタンスに限られます。 各オプションについて、下記に説明します:

- Manage(管理) このオプションを選ぶとこのインスタンスに対する監視が有効になります。
 これを選択されないと、他の設定されたオプションは無視されます。有効にされている場合、
 インスタンスのステータスを表す監視イベントが、各ポーリングごとに生成されます。
- Check Ports(チェックポート). インスタンスの TCP ポートの状態をチェックしたい場合、
 ここにポート番号を入力します。複数ポートを監視するには、ポート番号をカンマで分けます。チェックされた各ポートごとにイベントが生成されます。
- Enable CloudWatch (CloudWatch 有効化). このオプションを有効にすると、このページ上の設定を保存(save)すると直ぐに Amazon の CloudWatch オプションが有効になります。
 そのインスタンスに対する CloudWatch を有効にするとすぐに Amazon が課金しますので、注意してください、 現在の CloudWatch の価格については、AWS の Web サイトをご覧ください。
- CloudWatch Metric Settings (CloudWatch 計測基準設定). CloudWatch が有効にされた場合、下記の CloudWatch 計測基準のためのパラメータを設定することができます。
 - CPU Utilization CPU使用率(パーセント).
 - Network In ネットワーク(IN)バイト数.
 - Network Out ネットワーク(OUT)バイト数.
 - Disk Read Operations ディスク読み出し回数.

Tapinsystems ©2009

Tap In Systems – クイックスタートガイド

- Disk Write Operations ディスク書き込み回数.
- Disk Read ディスク読み出しバイト数.
- Disk Write ディスク書き込みバイト数.
 これらの各計測基準について、下記のオプションがあります:
- Enable(有効化). これにより CMS がこの計測基準を監視します。これが有効であれば、監視イベントがすべてのポーリング毎に生成されます、Warning や Critical を入力しないで、計測基準が有効の場合でも監視イベントは生成されますが、常にOK(severity:重要度 5)のイベントとなります。
- Warning Threshold(ワーニング閾値).ここに数値が入力されると、ポーリングされた 計測基準がこの値を超えた場合、ワーニング(warning)イベント(severity:重要度 3) が生成されます。注:この値よりも小さい場合にワーニングアラートを生成したい場合、 Critical Threshold をWarning Threshold よりも小さく設定してください。
- Critical Threshold (クリティカル閾値). ここに数値が入力されると、ポーリングされた 計測基準がこの値を超えた場合、クリティカル(Critical)イベント(severity:重要度 1) が生成されます。注:この値よりも小さい場合にクリティカルアラートを生成したい場 合、Critical Threshold をWarning Threshold よりも小さく設定してください。
- Period in seconds(保持秒数).これは通知がいつ発生するかを決めるのに使用されます。
 通知プロセスが開始する前に、この時間の間、アラートの重大度がこのレベルであることが必要です。たとえば、CPU使用率がクリティカル状態になって1時間経過するまでは通知を受けたくない場合、この時間を 3600 にセットします。ゼロ("0")値は、
 イベントが発生したらすぐに通知が発生します。
- Metric type(計測基準タイプ). CloudWatch は各計測基準について4つの計測:平均 (average)、最小値(minimum)、最大値(maximum)および和(sum)を持ちます。 計測基準が、ワーニングやクリティカルの閾値を越えたかどうかを判断するのに、使用 するタイプを指定します。
- Enable Notification (通知有効化). このインスタンスの通知を有効にするには、これをセットにします。通知プロセスを開始するために、*My Properties* ページの通知情報も入力する必要があることに注意してください。通知は、アラートがクリティカル(Critical)の重要度になり、そしてその状態が"Period"の時間経過した場合にのみ発生します。

これらのパラメータを入力し終ったら、設定を保存するために UPDATE ボタンを選びます。そのインスタンスの監視スクリクトの実行時にこれらの設定が使用されます。実行後、イベントをWebレポートや QuickView コンソール上で見る事ができるでしょう。

注意: QuickView は、最も速く、最も正確、かつ最もスケーラブルな最新イベントのビューを 提供します。これらの理由から、Tap In Systems は、運用スタッフが QuickView を主要なイベ ントを見るためのツールとして使用することを推奨します。

🕒 WEB ブラウザから監視ステータスを見る.

下記の Web ページで監視データを表示します。

- ・ User Data Grid (ユーザデータグリッド)。 このページは、現在の監視イベントとTap In CMS によって作成されたグラフを表示します。
- Amazon CloudWatch レポート。 このページは、グラフ化のため、 Amazon から直接、 CloudWatch データを読み出します・
- ・ Amazon Billing Estimate(課金見積)レポート。このレポートは、CMS によって収集された 監視計測基準を使って。あなたの Amazon 課金の見積もりを提供します。

ユーザデータグリッド(User Data Grid)

メニューから、Status、User Data Grid を選んで、このページをアクセスします。下記のページ が現れるでしょう。

										л		
Home Status	Analysis My Configuration	Event	s 🔊 🔊 Gr	aphs						Friday, 03 July 200	9 01:3	7 PM
	2 60 ice-id 2 2 60 1 6	GROU Event from	P: • instan s: open 2009-06-03		asc 🔹 and last upda	te v desc resh off	rows/page REFRESH	50 🗸 mo	de condensed	<u>•</u>		
		0	€ ID	LAST	FIRST	COUNT	RULE	CLASS	PRIORITY	MESSAGE	EID	EMS
🗷 🗶 i-6824f201 8		1	L 126239	2009-07-03 13:32:59	2009-07-01 16:00:30	550	CPUUtilization	Amazon	50	2009-07-03T20:27:00Z InstanceID i-0d066464	107	127.0.
		3	२ १२६२३३	3 2009-07-03 13:32:59	2009-07-01 16:00:30	550	NetworkOut	Amazon	50	2009-07-03T20:27:00Z InstanceID i-0d066464	109	127.0.
	16	5	L 126242	2 2009-07-03 13:33:00	2009-07-01 16:00:30	550	DiskWriteBytes	Amazon	50	2009-07-03T20:28:00Z InstanceID i-0d066464	113	127.0.
표 🗶 i-f4da749d 8		5	a 126244	4 2009-07-03 13:33:00	2009-07-01 16:00:30	550	DiskReadOps	Amazon	50	2009-07-03T20:27:00Z InstanceID i-0d066464	112	127.0.
🗄 🥥 Tapin Usernam	ne 2	5	A 126236	6 2009-07-03 13:33:00	2009-07-01 16:00:30	550	DiskReadBytes	Amazon	50	2009-07-03T20:27:00Z InstanceID i-0d066464	111	127.0.
		-5	12623	2009-07-03 13:32:59	2009-07-01 16:00:30	550	DiskWriteOps	Amazon	50	2009-07-03T20:27:00Z InstanceID i-0d066464	110	127.0.
Attribute	Value	5	Q 126234	2009-07-03 13:32:59	2009-07-01 16:00:30	550	Networkin	Amazon	50	2009-07-03T20:27:00Z InstanceID i-0d066464	108	127.0.
Object	101000101	5	12624	2009-07-03 13:32:59	2009-07-01 16:00:30	550	configuration	Amazon	50	instance-id i-0d066464, status is running, ami	106	127.0.
object	1-00000404											
Class	Amazon											
Parent	instance-id											
Children	DISK,NTP_HOST,rul											
Severity Counts	1=3, 2=0,3=1,4=0,5=											
availability_zone	us-east-1c											
image_id	ami-50fc1b39											
private_dns_name	domU-12-31-39-03- E3.compute-1.intern											
instance_state	running											
×	•	•			III							F
	stems. All rights reserved.											

このビューは、以下のセクションに分割されます。

- Navigaton Panel(ナビゲーションパネル)。ページの左上部に、監視環境のコンポーネントを現すツリー状のコントロールが表示されます。このパネルは他のパネルを制御します。ツリーを開いてノードを選ぶと、選択したノードに関連するデータを表示するよう他のパネルを変化させます。ツリー上のノードは監視イベントのフォーマットに依存します。 Amazonのイベントでは、ツリーからはインスタンス ID が開き、そして、そのインスタンスの個々の計測基準チェックが開きます。ノードの色は、ノード下のコンポーネントで、最も重大度の高いイベントを示します。ノードの横にある数値は、色で表されている各重大度(1から5)毎のカウント数を示します。
- Attributes Panel (属性パネル)。ページの左下部にあるこのパネルは、選択したノードに 関連する情報を表示します。いろいろなイベントクラスは、そのクラスに関連したさまざ まのメタデータを表示できます。Amazon のイベントクラスにおいて、インスタンス ID ノードが選ばれている場合、属性パネルには、インスタンスに関連する、イメージ ID(AMI)、 可用性ゾーン (availability zone)、プライベート DNS とパブリック DNS 属性が表示

されるでしょう。

・ Events Panel (イベントパネル). ページの右側には、選んだタブによって、イベントやグ ラフパネルが表示されます。Events (イベント)タブは、選んだノードに関連するすべてのイ ベントを表示します。イベントをリフレッシュするには、ノードを再度選ぶか、REFRESH ボ タンを押してください。また、このタブの中のアイテムを使って、追加のフィルターやソート オプションを選ぶことができます。

・ Graphs Panel(グラフパネル)。 Graphs(グラフ)タブは、選んだノードの関連する計測 基準のグラフを表示します。 3 つのレベルのグラフがあります。

Group graphs(グループグラフ)。これらはツリーのグループ(最上位)ノードを選ぶことで表示されます。このビュー内ではグラフは、このノード下の各計測基準に対して作成されます。下位レベルの各ノードにわたる平均の計測基準の値と、同様にノード数がグラフ化されます。例を下記に示します。



最上部のグラフは、すべてのインスタンス ID の平均の CPU 使用率を表示します。表 示されているように、平均を求めるのに8つのインスタンスが使用されています。この ビューは環境全体の使用率の概要を提供します。

Node graphs(ノードグラフ)。 これらは最上位ノード下の中間ノードのひとつを選ぶことで表示されますが、最下位のrootノードでは表示されません。これらのグラフは、各グラフ上で、選択したノードのすぐ下の各ノードの計測基準を表示します。

Tap In Systems – クイックスタートガイド

Groups		Events Scrapts	
	360 ance-id 1360 426 98 98 88 88	Amazon instance-ld From Represed Represed Metric Trends	
E ● I-a18a51cl E ● I-aadb4fc3 E ● I-f4da749d E ● Tapin Usern	88 116 18 ame		
Attribute	Value	"" The second	
Object	instance-id	The 29 con Riscolo Riscolo Riscolo Riscolo Riscolo Riscolo	
Class	Amazon	■ There, Links, Links / Finks J Folks 9 Avery J 332.7, 10 Hills J 322.10 ■ chere, Links, Schaf / Amit Mans 54612.10 Avery 54612.00 Min 5462.00 ■ chere, Links J States Mans 7, 37 Avery 0.86 Min 5.00	
arent	root	idveck_unip_offset Mas D.17 Avg D.04 Min D.03 idveck_unip_offset Mas D.17 Avg D.04 Min D.03	
	i-0d066464,i- 10e84979,i-	etchesk_load isndi 3. xmc 10.87 ymg 1.40 mic 0.33 etchesk_load isndi 3. xmc 2004 Mrg 1.38 mic 0.48 Otherk_malig unsert Max and Arg pain. Mic nah etchesk_malig unsert Max and Arg pain. Mic nah etchesk_manerg pt: Mix 37.56 Arg 0.35.27 Mic 0.27.	
Children	12/91e/0,i- 6824f201,i- 8c70e7e5,i- a18a51c8,i- aadb4fc3,i- f4da749d	SPACELIZEALED pain Max 21.00 APM 139.26 Min 39.74 SPACELIZEALED MAX 200.00 Min 27.27 SPACELIZEALED MAX 200.00 Min 27.27 SPACELIZEALED MAX 200.00 Min 27.27 SPACELIZEALED MAX 200.00 Min 27.07	
Chilldren Severity Counts	12/918/0,1- 08247201,1- 8c706765,1- a18a51c8,1- a8d044c3,1- 14da749d 1=2, 2=0,3=4,4=0,5=	Convollization sum mas 21:00 www.18:26 mis 90:74 Crovollization sum mas 21:00 www.18:26 mis 90:74 Crovollization my mas 20:10 my 20:01 mis 2:37 Crovollization my mas 20:12 my 20:01 mis 2:00 Crovollization my mas 20:12 my 20:00 mis 2:00 Colline my 20:00 mis 2:00 mis 2:00 mis 2:00 mis 2:00 Colline my 20:00 mis 2:00 mis 2:00 mis 2:00 mis 2:00 Colline my 2:00 mis 2:00 mis 2:00 mis 2:00 mis 2:00 Colline my 2:00 mis 2:00 mis 2:00 mis 2:00 mis 2:00 mis 2:00 Colline mis 2:00	
Children Severity Counts availability_zone	12/916/0.1- 6824201.1- 8c70e7e5.i a18a51c8.i- sa6b4tc3.i- f4da749d 1=2, 2=0.3=4,4=0.5=	Convollization sum fast 21:00 for wr 184.26 for bh.24 Crovelization sum fast 21:00 for wr 184.26 for bh.24 Crovelization wr fast sum for the formation of the	

ここで"Amazon instance-id"の下に、各インスタンスのためのグラフが作成されます。 各グラフはそのインスタンスID のために収集れた計測基準のすべてを表示します。

Rule graphs(ルールグラフ)。 これらは、ルールと呼ぶ、単一タイプの監視チェックからの結果を示す最下位レベルのルールノードを選ぶことで表示されます。そのチェックからの、前日の傾向グラフ、先週の傾向グラフ、先月の傾向グラフ、過去8時間の全計測値を表示するポイントグラフおよび、計測値を更新する各イベントを表示する表など、すべての計測基準が表示されます。

例を下記に示します



グラフパネルは REFRESH ボタンを押すことでリフレッシュ(再表示)できます。デフォルト ではグラフの時間間隔は最近24時間に設定されています。カスタムの開始と終了の日時を設定す ることで異なる時間間隔を設定できます。

Amazon CloudWatchレポート

CloudWatch レポートは *Analysis* を選び、メニューから *Amazon CloudWatch を選択する*こと でアクセスさできます。レポートのカスタマイズのために下記のオプションが利用可能です。

CloudWatch Metric (CloudWatch計測基準). グラフにする計測基準を選びます。

・ Instances(インスタンス). グラフにするインスタンスを選びます。複数のインスタンスを 選択でき、それらのインスタンスには最小値、最大値、平均値と合計値が含まれます。インスタ ンスが選ばれなかった場合、すべてのインスタンスの計測値が計算に使用されます。

- ・ Instance type (インスタンスタイプ). 使用するインスタンスタイプを選びます。
- Time range(時間帯).時間帯を選びます。CloudWatch は最近14日間のデータに限定されます。
- ・ グラフや表に含める metrics(計測基準)の選択。各々の計測基準が選択されたら、それぞれ についての折れ線グラフが表示されるでしょう。しかし、Minimum(最小値)と Maximum (最大値)が選ばれたら、その時間間隔内の範囲を示す灰色のバーが表示されるでしょう。
- Period(時間帯).各X軸ポイントの時間間隔です。minimum interval(最小時間間隔)は、1 分です。1分以上の時間間隔では、最小値、最大値、平均値とその時間帯内の全ポイントの 合計値が表示されます。たとえば、時間として5分が指定されると、計測値は各5分間隔(例、 0:00 から 0:05、0:05 から 0:10、等)で収集(例、0:00 から 0:05、0:05 から 0:10、等) されます。各5分間隔毎の最小値と最大値、最小値、最大値、平均値とその時間帯内の全ポ イントの合計値が計算され、時間間隔ポイントのために表示されます。

CPU Utilization (CPU使用率)を表示するレポート例を下記に示します。



24.52

17.76

32.64

5.0

09-07-03 01:17:00

UPDATE ボタンが選択されると、Web アプリケーションは Amazon CloudWatch API から直接、 すべてのデータポイントを検索します。CloudWatch API は毎分計測基準をサンプリングするの に対し CMS では5分ごとであるため、これらのレポートはよりきめ細かなデータ分析が必要な 場合に利用されるでしょう。

Amazon 課金見積レポート

このレポートは Tap In CMS システムによって収集された監視計測基準を使って作成され、公開 された Amazon 課金ポリシーをこれらの計測基準に適用します。

これは AMAZON の請求書の置き換えを意図したものではありません。このレポートは CMS に装 備された監視計測基準をベースとし、あなたの Amazon AWS アカウントに配備されたいすべて のインスタンスやサービスを含んでいない可能性があります。また、CMS は、課金時間全体の 時間対を含んでいないかもしれません。しかし、このレポートは、あなたの課金に対する追加監 査チェックとして使用することもできます。また、あなたのコンフィグレーションへの Amazon コストに関連して、あなたのクラウドコンピューティングのコスト発生源を特定する可能性もあ ります。

Analysis を選び、メニューから *Amazon Billing を選択する*ことでアクセスさできます。 UPDATE ボタンを押すと、下記のようなレポートが作成されるでしょう。

	INS	YSTer	ns								LOG OUT
Home St	tatus An	alysis My Config	uration						Friday	y, 03 July 2009	06:21 PM PC
mazon	EC2 Lin	ux Billing Est	imate								
otal Cos	t = \$52.80	D									
UPDATE											
Filter Option	ns	Show billing detai									
Time range	;	Start July 01, 2009	12:00:00 AM	EI	nd now 🗵 or	select July 0	03, 2009 06:21:50 PM				
aroup Detail											
Broup	Insta	ance Hours	instance Hour Cost	Da	ta Transfer In	Data	Transfer Out	Data Transfer Bytes	Data Transfer Co	ost Gr	oup Cost
234567890	528	5	52.80	0		0		0.00 GB	\$0.00	\$5	2.80
234587890 Istance Deta Group	528 iil	First	Last	0 Instance Type	Instance Hours	0 Instance Cost	Data Transfer In (avg bytes/sec)	Data Transfer Out (avg bytes/sec)	\$0.00 Data Transfer Bytes	\$5 Data Transfer Cost	Instance Cost
234567890 Istance Deta Group 234567890	528 iil i-6824f201	First Wed Jul 1 00:00:00 2009	Last Fri Jul 3 18:20:38 2009	0 Instance Type m1.small	Instance Hours 86	0 Instance Cost \$8.60	Data Transfer In (avg bytes/sec)	0.00 GB Data Transfer Out (avg bytes/sec) .	\$0.00 Data Transfer Bytes -	S5 Data Transfer Cost	Instance Cost \$6.60
234567890 Instance Deta Group 1234567890	628 iil i-8824f201 i-aadb4fc3	First Wed Jul 1 00:00:00 2009 Wed Jul 1 00:00:00 2009	Last Fri Jul 3 18:20:38 2009 Fri Jul 3 18:20:40 2009	0 Instance Type m1.small m1.small	Instance Hours 66 66	0 Instance Cost \$6.60 \$8.60	Data Transfer In (avg bytes/sec) -	Data Transfer Out (avg bytestied) - -	S0.00 Data Transfer Bytes - -	Data Transfer Cost -	2.80 Instance Cost \$6.60 \$6.60
234567890 Istance Deta Group 1234567890 1234567890 1234567890	528 iil i-6824f201 i-aadb4fc3 i-0d066464	First Wed Jul 1 00:00:00 2009 Wed Jul 1 00:00:00 2009 Wed Jul 1 00:00:00 2009	Last Fri Jul 3 18:20:38 2009 Fri Jul 3 18:20:40 2009 Fri Jul 3 18:20:41 2009	0 Instance Type m1.small m1.small m1.small	Instance Hours 66 06 06	0 Instance Cost \$6.60 \$6.60 \$6.60	Data Transfer In (avg bytes/sec) - -	Date Transfer Out (avg bytes/sec) - -	S0.00 Data Transfer Bytes - -	Data Transfer Cost - -	2.80 Instance Cost \$6.60 \$6.60 \$6.60
1234567890 Instance Deta Group 1234567890 1234567890 1234567890	528 iil i-8824f201 i-aadb4fc3 i-0d088484 i-f4da749d	First Wed Jul 1 00:00:00 2009 Wed Jul 1 00:00:00 2009 Wed Jul 1 00:00:00 2009	Last Fri Jul 3 18 20:38 2009 Fri Jul 3 18 20:40 2009 Fri Jul 3 18 20:41 2009 Fri Jul 3 18 20:39 2009	0 Instance Type m1.small m1.small m1.small m1.small	Instance Hours 66 66 66 66 66	0 Instance Cost \$6.60 \$8.60 \$8.60 \$6.60	Data Transfer In (avg bytes/sec) - - -	Data Transfer Out (avg bytes/sec) - - - -	S0.00 Data Transfer Bytes	SS Data Transfer Cost	2.80 Instance Cost \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60
234567890 Istance Deta Stoup 234567890 234567890 234567890 234567890	628 iil i-8824f201 i-8adb4fc3 i-0d086464 i-f4da749d i-a18a51c8	First Wed Jul 1 00:00:00 2009	52.80 Fri Jul 3 18.20:38 2009 Fri Jul 3 18.20:38 2009 Fri Jul 3 18.20:40 2009 Fri Jul 3 18.20:39 2009 Fri Jul 3 18.20:39 2009	0 Instance Type m1.small m1.small m1.small m1.small	Instance Hours 66 66 66 66 66 66 66 66	0 Instance Cost \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60	Data Transfer In (avg Dytes/sec) - - - - -	Data Transfer Out (avg bytestied)	S0.00 Data Transfer Bytes	Solution Transfer Cost	Instance Cost \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60
234567890 istance Deta Group 1234567890 1234567890 1234567890 1234567890 1234567890 1234567890	628 iil i-6824f201 i-6824f201 i-6824f20 i-0d006464 i-f4da749d i-a18a51c8 i-10e84979	First Wed Jul 1 00:00:00 2009	52.80 Fri Jul 3 18.20.38 2009 Fri Jul 3 18.20.40 2009 Fri Jul 3 18.20.41 2009 Fri Jul 3 18.20.39 2009 Fri Jul 3 18.20.39 2009	0 Instance Type m1.small m1.small m1.small m1.small m1.small	Instance Hours 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66	0 Instance Cest 36.60 36.60 36.60 36.60 36.60 56.60 56.60	Data Transfer in (avg bytesised)	Data Transfer Out (avg bytes/sec) - - - - - - - - - - - - -	Data Transfer Bytes - - - - - - - - - - - -	SS	Instance Cost S6.60 S6.60 S6.60 S6.60 S6.60 S6.60 S6.60
234567890 astance Deta Group 234567890 234567890 234567890 234567890 234567890 234567890 234567890	528 iii i-8824f201 i-9adb4fc3 i-0d000464 i-f4da749d i-14da749d i-14da749d i-10e84979 i-8c70e7e5	First Wed Jul 1 00:00:00 2009 Wed Jul 1 00:00:00 2009	52.80 Fri Jul 3 18.20:38 2009 Fri Jul 3 18.20:40 2009 Fri Jul 3 18.20:41 2009 Fri Jul 3 18.20:39 2009 Fri Jul 3 18.20:39 2009 Fri Jul 3 18.20:39 2009 Fri Jul 3 18.20:39 2009	0 Instance Type m1.small m1.small m1.small m1.small m1.small m1.small	Instaince Instaince Hours 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66 66	0 Instance Cost \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60	Data Transfer In (avg bytel/sec)	Date Transfer Out (avg bytes/sec) 	Data Transfer Bytes -	SS Data Transfer Cost	Instance Cost 56.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60 \$6.60

このレポートは各インスタンス-時のコストと各インスタンスに関連するデータ転送コストを表 示します。

🕙 QuickView コンソールアプリケーションのインストール

QuickView は、あなたの管理サーバ上の全オープン中イベントを見ることができる Tap In の Java ベースのコンソールアプリケーションです。QuickView は管理サーバがイベントを処理す るのに応じてダイナミックにアラームを更新する高性能のコンソールです。QuickView を使うた めにはローカルシステムにアプリケーションをインストールする必要があります。また、 QuickView は、Amazon EC2 クラウド内の Tap In 管理サーバとあなたのローカルシステムと の間の 9009 番ポートをオープンする必要があります。確実にファイアーウォールがこのポート のTCPを通過させるようにしてください。

ダウンロードするために、ブラウザで Tap In の Web サイト<u>http://www.tapinsystems.com/</u> を開き、Resources 、Downloads ページと辿ります。あなたのオペレーティングシステムに適 当な QuickView のダウンロードリンクを選んで、パッケージインストレーション手順を参照し てください。

QuickView には、ローカルシステムに Java 1.6 以降がインストールされている必要があります。 Windows パッケージでは MSI package の上をクリックすると、インストレーションの間ガイド されます。インストール後、下記のような QuickView デスクトップアイコンをクリックして実 行開始します。



Linux システムではダウンロードしたファイルを untar し、quickview.sh シェルスクリプトを実行して QuickView を起動します。

起動したら、下記の	ようなロクインタ・	イアロクが表示されます。
-----------	-----------	--------------

🛓 Login	×
Conf file:	ems\QuickView\conf\qv_default.xml Browse
Host:	test6.tapinsystems.net
Username:	peter
Password:	****
	Ok Cancel
Version: 2.0	0.1 Build: Saturday Dec 13 2008 21:04:57 PST

下記のように入力します:

Conf file. これはあなたが開いたセッションのためのパラメータを含むコンフィグレーション ファイルです。Browse を選んで Conf サブディレクトリにナビゲートし、コンフィグレ ーションファイルを選びます。あなた自身のデフォルトセッションパラメータを設定する する方法については *Tap In CMS QuickView Guide* を参照してください。スタートするた めにデフォルトのコンフィグレーションファイル qv_default.xml を選ぶことができます。 Host. あなたのアカウント情報と一緒に提供された管理サーバのホスト名を入力します。 Tap In Systems – クイックスタートガイド

Username と Password: あなたのアカウント情報と一緒に提供された QuickView ユーザ名 と パスワードを入力します。

すると QuickView は管理サーバへの接続を試みます。 接続が成功するとメインコンソールウィ ンドウが開きます。



QuickView コンソールは Tap In の CMS によって処理された現在の監視イベントを表示します。

これらのイベントは監視チェックが完了する毎にダイナミックに更新されます。このウィンドウ で実行できる基本的な作業として、下記があります:

- PAUSE ボタンを押して、ウィンドウが更新を受け取るのを停止する。イベントリストをより容易に見るためにこの機能を使いたくなるかもしれません。
- フィールドでソートする。ウィンドウの上部にあるフィールド名を選択することで、どの フィールドででもソートすることができます。一般的な見方は重要度(severity)で、 最 重要アラート(severity 1)が最上部に表示されます。
- ひとつのイベントをダブルクリックするか、イベントを選んでから INSPECT ボタンを押して、イベントの詳細を見る。
- イベントを選んで CLOSE ボタンを押すことで、イベントのクリーニングができます。
 注:次回監視チェック行われたら新しいイベントが作成されます。
- RESYNC ボタンを押して、CMS サーバのアラームリストをリフレッシュします。アラーム リストは、サーバへのコネクションが維持されている限り、常に現在状態であるはずです。 しかし、再同期によって、いつでも、強制的に現在アクティブなアラームリストを検索す ることができます。
- ウィンドウを閉じるか、メニューから FILE、LOGOUT と選ぶことで、サーバへの接続をクローズします。

他のオプションについては、下記の表を参照してください。すべての QuickView 機能について の詳しい説明は、*Tap In CMS QuickView Guide* を参照してください。

QuickView のアクショ	シ
	全イベントの選択/非選択
×	選択したイベントのクローズ
0	イベントのオーナシップ受け入れ
C	他のユーザにイベントのオーナシップを移管
	表示再開。更新の再有効化。停止中はブリンクする。
•	表示の停止
¢	画面上のアラームの再同期
Q	イベントをダブルクリックすることで、ひとつのイベントの全詳細を
	見る
Ø	SQLフィルターを設定する。コンソールのイベントリストに適用する
	フィルターを定義する

次のステップ

Tap In CMS の機能を強化するために下記の作業を実施することが可能です。

- あなたの監視対象インスタンスに Tap In 監視エージェントをインストールすることde 監視を拡張します。Linux、Windows および EC2 エージェントが Tap In Systems の Web サイト上で提供されています。エージェントにより、あなたの監視対象システム 上であなた自身のスクリプトを実施し、その結果を CMS に送り、アラート発行、通知、 レポートやグラフ化をすることができます。Tap In エージェントによって Nagios ス クリプトがサポートされているので、監視スクリプトについて、便利だと思われる Nagios プラグインのオープンソースプロジェクトをご覧ください、Windows の監視は、 Tap In の Windows Powershell エージェントで行えます。
- ・エージェントは他の Amazon EC2 インスタンスやあなたのデータセンタのクラウドでな いリソース上にも適用可能です。
- オペレータが迅速に問題シナリオを認識できるようQuickView カスタム SQL フィルタ を構築します。
- ・ Build interfaces between CMS と他の監視システム間のインタフェースや、それらのシス
- テムへのアラートのフィードを構築します。

Tap In Systems から専用 CMS サービスを購入することであなたの監視を拡張することもでき ます。 このサービスは、あなたの環境を監視するための Amazon EC2 インスタンス専用です。 この専用サービスでは、監視対象のインスタンス数の制限はありません。専用 CMS サービス購 入の詳しい情報については Tap In Systems: info@tapinsystems.com にお問い合わせください。